

No.3367

第3685回例会
令和3年1月27日

OBIIHIRO ROTARY CLUB

DISTRICT 2500

方針「ONE TEAM」

会長 長澤秀行

2020-21年度国際ロータリーのテーマ ロータリーは機会の扉を開く

■会長報告



長澤秀行 会長
先週、第5回クラブ協議会をオンラインで開催し、各委員会の中間報告をしていただきました。コロナ禍で、取り組みが当初の予定通りには進まない中、それぞれ工夫をしていただき、上期が無事終了し下期へと移行しています。理事、役員、委員会委員長、副委員長、すべての会員の皆様に感謝申し上げます。コロナの状況にもよりますが、年度末最終夜間例会は蓄積されたフラストレーションを一気に発散して、盛大に開催したいと思います。

本日のプログラムは、米山記念奨学会委員会が担当です。奨学生選考委員会の讃岐武史委員長からロータリー米山記念奨学事業について紹介があります。そこで、私がロータリークラブに入って良かったなあと最初に思った時の話をしたいと思います。米山学友のモンゴルのジャンチブ・ガルバドラッハさんとの出会いについてです。

私がロータリークラブに入会したのは2008年3月です。それから、4年後の2012年7月にモンゴル・ウランバートルを訪問する機会がありました。到着直後、水がほしくてホテルのフロントに行きましたが、言葉が通じません。到着直後で現地のお金の持ち合わせもなく困っていたら、ロビーにいたモンゴル人が、「水がほしいんですね。」と言って、水を買って私にくれました。「どちらからお出ですか?」と聞かれたので、「北海道の帯広からです。」と答えると、「帯広ですか。では、讃岐さんと渡辺さんをご存じですか?」

ジャンチブさんは米山学友でした。山形大学と東北大学に在籍していた時に、「娘たちが通った日本の小学校、中学校、高校の教育システムには感動しました。」ということで、帰国後に日本式の教育システムを母国で広めたいと思い、新モンゴル高校を設立しました。その後、中学校、小学校、高専、工科大学、幼稚園も設立し、小中高一貫校で人材育成を進めています。2015年のIMでは、帯広に来て講演をしています。現在は、名古屋大学大学院博士課程(教育学)に在籍し、さらに研鑽を積んでいます。夢は、モンゴルからノーベル賞受賞者を出すことだそうです。

米山記念奨学会への寄付は随時受け付けていますので、引き続きよろしくお願ひします。皆さんも、どこかで、米山学友に助けてもらうことがあるかもしれません。

■プログラム

(米山記念奨学会委員会)

「ロータリー米山記念奨学事業の現況」

RI第2500地区米山記念奨学会運営委員会

奨学生選考委員長 讚岐 武史 会員



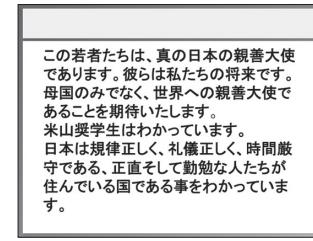
こんにちは。RI第2500地区米山記念奨学会運営委員会、奨学生選考委員長の讃岐です。もう地区では米山委員として14年目になりました。過去に地区委員長を3年、ロータリーの第一ゾーン(北

海道・東北6県、新潟、群馬、栃木、茨城、千葉と埼玉北部を合わせた地区)の代表で、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の委員を2年ほど勤めました。2500地区的会員の中では最も古い委員です。今日は改めて奨学会のお話をさせて頂きますので、パワーポイント資料をご覧になりながら、暫しご清聴下さい。



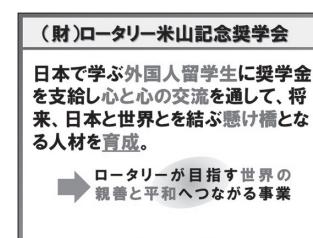
元RI会長ビチャイ・ラタクル氏

2012年5月6日
バンコク「米山ナイト」にて
聰明な若者達は、日本での卒業後、母国に戻り、どのような地位や状況であろうとも、日本で学んだ事柄、米山奨学生の仲間たる日本のロータリアンとの友情は、心にいつも残っています。まさに、親睦、友愛関係、人ととの理解、協調性の促進であります。



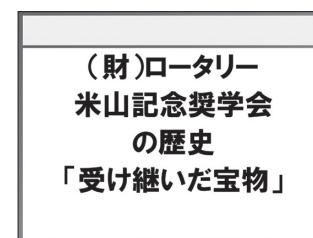
今日、覚えて頂きたいこと

**日本ロータリーには
世界に誇る合同国際
奉仕事業があります**



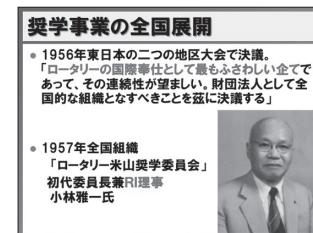
米山奨学事業の概要

日本のロータリー独自の事業
(日本全国34地区の合同活動)
日本で学ぶ外国人留学生の支援
(公益財団法人を設立し運営)
世話クラブ・カウンセラー制度
で交流を重視



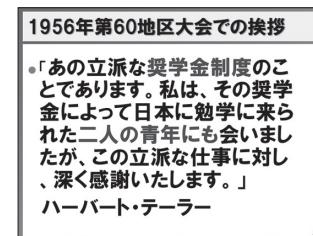
米山梅吉翁の遺徳を讀んで

- 1946年4月28日米山梅吉翁78歳で逝去
- 1949年日本、国際ロータリー復帰
- 1952年東京RC会長古澤文作氏が「米山基金」の試案を発表。(1928年大連宣言起草者)
「これ実に翁の生前意図されたロータリー事業の一端であり、翁の遺徳を讃る無形の金字塔となさん」



国際ロータリーからの賞賛

- 1956年の二つの地区大会で決議。「ロータリーの國際奉仕として最もふさわしい企てであって、その連續性が望ましい。財団法人として全國的な組織となすべきことを茲に決議する。」
- 1957年全国組織「ロータリー米山奨学委員会」初代委員長兼RI理事 小林雅一氏
- 1956年東日本の二つの地区大会で決議。「ロータリーの國際奉仕として最もふさわしい企てであって、その連續性が望ましい。財団法人として全國的な組織となすべきことを茲に決議する。」
- 1956年の二つの地区大会の会長代理は1954-55年度のRI会長、「四つのテスト」のハーバート・テラー氏。
- 第60地区的大会の挨拶で米山事業に触れ、東京RCの功績を讃え感謝の意を表した。



事業のはじまり

- 1946年 米山梅吉翁逝去
- 1949年 日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰
- 1952年 東京RCが事業構想「米山基金」「平和と日本」を世界へ(日本の友人を増やし平和を実践する人材を育てる)
- 1957年 日本全国の組織へ
- 1967年 財団法人設立

▶ 国際ロータリーと米山
2002 ロータリー研究会のプログラムに
2004 R.I.理事会で米山記念奨学生事業が
賞賛
2007 ロータリーの多地区合同活動として
の手続きを完了
2014 国際ロータリーが学友の定義拡大、
米山学友も「ロータリーの学友」
2016 ラウル国際大会で初の分科会開催

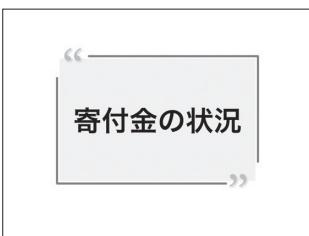
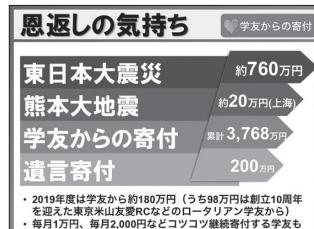
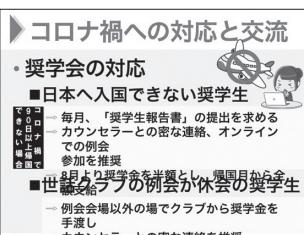
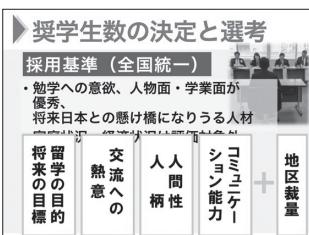
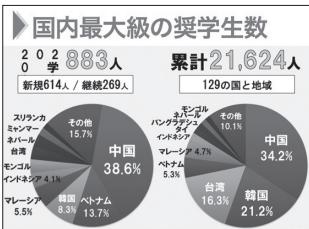
“米山奨学生 と 奨学生”

学友会の活動【海外】

学友からロータリアンに

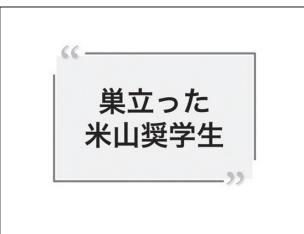
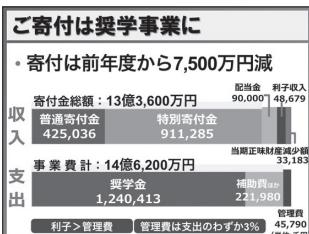
- 239人 台湾 82人 韓国 68人 中国 48人 その他 41人
- カバナーになった学友: 3人

リム ユンワイ
林 隆義氏 (韓国) 1997-98年度 RID3650
キヨ コブン
許 國文氏 (台湾) 2005-06年度 RID3490
リン カミン
林 華明氏 (台湾) 2015-16年度 RID3520



My Road To Rotary 「はじめに」(抄)

My Road To Rotary 1947 序文(抄) 続き



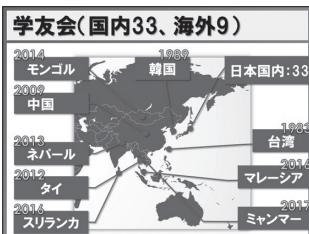
■ 会務報告

- ①7RC合同例会(2/18)は中止となりましたので、お知らせ致します。
- ②第6分区IM(3/27)は、中止となりましたので、お知らせ致します。
- ③各RC、2月の例会状況のお知らせ
 - ・帯広南RC、2/15(月)、2/22(月)のみ短縮例会で開催致します。
 - ・帯広東RC、2/9(火)のみ短縮例会で開催致します。
 - ※2/23(火)は、祝日のため休会と致します。
 - ・帯広西RC、zoom例会にて開催致します。
 - ※2/11(木)は、祝日のため休会と致します。
 - ・帯広北RC、2月は休会と致します。

■ 委員会報告

・青少年育成委員会 合田理事

(各委員会)



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリーダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

- 創立 / 昭和10年3月15日
- 認証番号 / 3820
- 戦後再開 / 昭和25年12月19日
- 事務局 / 帯広市西3条南9丁目 経済センタービル3F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033
- 発行 / クラブ広報
- 委員長 / 進藤 敦史・副委員長 / 角 健太郎・梶野宗一郎
- 委員 / 山崎 育子・新沼 彰人・木村 尚志・坂野 奨・板谷 圭佑
- ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●会員総数89名 内免除会員2名

出席者数52名 内出席免除会員0名 内Zoom9名

出席率59.8%

■ 次回プログラム予定

2月3日(水)「北海道スカイアース活動報告および広報活動について」

(広報委員会)